

議会のトピックス

TOPICS

議会報告会を開催しました

議案等の審議結果

委員会の報告

ここが聞きたい 8人が一般質問

委員会視察報告

マニフェスト大賞成果賞特別賞を受賞

常任委員会で
参考人の意見を聴き
充実した審議



議会報告会を開催

4会場で市民117人が参加



春里公民館での様子

5、6人のグループに分かれ、なごやかな雰囲気での意見交換です

11月10日・11日・13日に、市内4か所の公民館で「議員と語ろう」第12回議会報告会を開催しました。議会報告会は、議会の活動を知っていただき、意見交換を通じて頂いたご意見を、これからの議会活動や政策提案に活かすことを目的としています。

今回は、平牧公民館、中恵土公民館、春里公民館、今渡公民館の4会場で開催しました。117名の参加者の内、40代以下が28名と、若い世代の方にも参加いただきました。各会場では、参加された市民が5、6名ずつのグループに分かれ、それぞれに議員2名が加わり意見交換を行いました。

まず議員が議会広報紙「議会のトビラ」を使って、9月議会での平成28年度決算認定の審議内容や、平成30年度予算編成に対して議会が行った提言についてなどを説明しました。その後、主なテーマを『公民館の地区センター化に向けて』として、自由な意見交換を行いました。

頂いた意見の中から一部を紹介します。

公民館の地区センターへの移行について

平成30年4月から、市内14か所の公民館が、社会教育法の適用を受けない地区センターへ変わります。これにより、施設の貸し出しに関して以下の点が変更になります。

- 営利目的や政治活動での使用が可能になります。
- 毎月第1月曜日だった休館日が廃止になります。
- 使用申請の受付期間が拡大されます。
- 使用料が変わります。(営利目的等で使用する場合の使用料の新設等)

地区センターへの移行により、施設利用の幅が広がるため、施設のさらなる有効活用が見込まれます。子どもからお年寄まで地域の方々が気軽に集まる賑わいの場となり、さらに地区センターを利用した地域活動等が行われていく中で、今まで以上に地域の拠点としての施設となることが期待されます。

「議員と語ろう」

参加者の 声

加地 弘美さん
(室原)



初めて参加しました。これまでの私にとっては、議会（議員）は遠い存在でしたが、柔らかい雰囲気の中で意見を聞いていただき、とても身近に感じました。また、地域のいろいろな方からの課題や意見を聞くことができ、とても有意義でした。住民との「語る会」なので、議会のトビラによる説明を短くして、意見交換の時間をもっと取ってもらえたらな、と思いました。

参加者の 声

三品 克二さん
(今渡)



今回、地元の市議さんより議会報告会の案内をいただき初めて参加をして、グループ形式で意見交換ができたことは大変有意義でした。今回テーマの地区センター化について可児市には14か所の公民館があることを初めて知り、また多くの課題も見えてきました。今後も機会があれば知り合いに声をかけ参加したいと思います。

公民館の利用について

- ▽インターネットでの予約ができるようにしてほしい。また、空き状況がホームページで確認できると便利。
 - ▽地区センター化について市民への周知が不十分だ。
 - ▽エレベーターを設置してほしい。より利用しやすくして稼働率を上げたいという方針であるならなおのこと、バリアフリー化が必要ではないか。
 - ▽エントランスにコーヒー等の自動販売機を設けて、談笑スペースがあるといい。
- ### アンケートの自由意見より
- ▽市の施策へのチェックが甘いのではないか。粘り強く追求してほしい。
 - ▽「議員と語ろう」を知らない市民が多いのもっとPRすべき。参加者、特に若い世代の参加を増やす方法を考えてほしい。
 - ▽参加して、議員に直接意見を言

い、また議員の生の声を聞くことができてよかった。

頂いた多くの意見を、内容によって3つの常任委員会に振り分け、今後の議会活動にどう活かしているのか、協議しました。

その結果、特に次の点について、引き続き情報収集や市長等への意見提出を行いながら、しっかり注視していくことを確認しました。

【総務企画委員会】

災害時の情報伝達について

【建設市民委員会】

公民館の地区センター化について

【教育福祉委員会】

平成30年5月6日開館予定の子育て健康プラザ「マリーノ」の運営等について

今回は平成30年5月に開催予定です。次号の「議会のトビラ」で、日程や開催場所等についてご案内します。みなさまお気軽にご参加ください。お待ちしております。

第5回定例会

平成29年第5回可児市議会定例会を11月30日から12月21日の22日間の会期で開催し、平成29年度一般会計補正予算や条例の制定など20件を審議しました。

提出された議案と審議結果



今回提出された議案は、予算関係2件、条例関係9件、その他7件、請願1件、委員会発案1件で、請願以外はすべて原案のとおり可決されました。

番号	件名	結果	番号	件名	結果		
議案	56	平成29年度一般会計補正予算（第4号）	○	議案	66	可児駅東西自由通路の設置及び管理に関する条例の制定	◎
	57	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	◎		67	財産の無償貸付け	◎
	58	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	◎		68	訴えの提起	◎
	59	市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	◎		69	指定管理者の指定	◎
	60	常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正	◎		70	指定管理者の指定	◎
	61	職員の給与支給に関する条例の一部改正	◎		71	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約に関する協議	◎
	62	兼山歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正	◎		72	市道路線の廃止	◎
	63	市営駐車場の設置及び管理に関する条例の制定	◎	73	市道路線の認定	◎	
	64	土地改良事業等に関する分担金等徴収条例の一部改正	◎	請願	2	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願	△
	65	観光交流館の設置及び管理に関する条例の制定	◎		発委	7	議案第56号平成29年度可児市一般会計補正予算（第4号）についてに対する附帯決議

【結果の表示記号】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 △賛成少数で不採択

第5回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件は、全会一致で可決しています。

	大平	田原	高木	渡辺	出口	伊藤	板津	勝野	天羽	澤野	酒井	川上	野呂	川合	山田	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	可児	林
	伸二	理香	将延	仁美	忠雄	博之	正規	良明	伸	正司	文浩	和久	敏己	喜弘	一男	悟	健二	牧子	光	慶志	則夫	
議案第56号 平成29年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
請願第2号 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	-	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●

※○は賛成 ●は反対 ※議長（川上文浩）は採決に加わらない

◆◆平成29年度補正予算に対する附帯決議◆◆

平成29年度一般会計補正予算について、次の附帯決議を付すことを決定しました。

債務負担行為の追加、岐阜医療科学大学開設支援事業にあたり、次の事項について、速やかに検討の上、実施されたい。

岐阜医療科学大学の誘致により、地域医療福祉の新しい展開を支える人材を本市から輩出することへの期待は大きい。行政と大学との連携による地域医療福祉の充実に向けた取り組みの実施を図ること。

常任委員会報告

第5回定例会の議案審査等の概要です。

予算決算委員会での補正予算審査、総務企画委員会での請願審査、建設市民委員会での陳情審査において、参考人として請願者、陳情者等にきていただき意見を聴きました。

可児市議会では、議会基本条例第6条第4項において、請願及び陳情を市民による政策提言と位置付け、その審議においては、必要に応じて当該請願及び陳情をした者の意見を聴く機会を設けるよう努めなければならない、と定めています。

予算決算委員会

岐阜医療科学大学薬学部開設に対する支援を審査

平成29年度一般会計補正予算、債務負担行為の内「岐阜医療科学大学支援事業」に関し、参考人として大学関係者等にきていただきました。大学の建築計画、学生確保の見通し、事業の積算根拠や資金計画等について説明を受けました。

◆◆参考人に対する質疑◆◆

2万円となっている。

Q 仮に18億円の補助がなかった場合に、薬学部の新設は難しくなるか。

A 根本から考え直さないといけない。看護学部だけでなく、2学部あつてこそ様々な連携ができ、経営的にも効率化が図れると考えている。

◆◆執行部に対する質疑◆◆

Q 県からの補助は難しいか。

A 前回名城大学を誘致した時に2億円の補助があったので、今回ももちろんその可能性は探った。県内での移動であり、県外に流出するわけではないので、県としてのメリットは非常に大きいと考えるが、補助制度がないのが現状。また補助制度創設も不可能という回答が県からあった。

◆◆その他の補正に関する質疑◆◆

Q 災害対策費システム負担金1070万円の内容は。

A 災害時の割り込み放送システム導入に当たり、FMららへの業務委託料862万2000円と、FMららに設置している美

濃加茂市所有の親機の導入経費の2分の1を負担する負担金207万8000円の合計である。

Q リニアの関係の管理用道路をJRから委託でつくるということだが、そこは保安林になっているが影響はないか。

A 作業許可を得て行う予定。実施計画、環境保全計画をきちんと立て、地元の説明しご意見も伺いながら進めて行く。

◆◆討論◆◆

反対 債務負担行為の岐阜医療科学大学への18億円というのは納得ができない。本市の一般会計の予算規模は360億円として、その5%に当たる。大変な金額であり、もっと減額をすべきだと考える。債務負担行為の18億円に対し反対の立場であるので、全体として補正予算に反対。

賛成 大学新設を受けて、市民に向けた具体的な取り組みを事業化し、また神野学園側が具体的に約束して取り組むことが新年度予算に反映されることを期待して、賛成。

大学誘致により、薬学部、看護学部の学生が地域と関わりを持つことで、地域医療、人づくり、地域づくりにつながっていくことに期待して、賛成。

国民健康保険事業特別会計

◆◆質疑◆◆

Q 保険税は被保険者数が減ったので減額になるとの説明だが、医療費との関係は。

A 被保険者数は、後期高齢者医療保険への移行や、被扶養者の適用拡大による社会保険への移行によりトータルは減った。しかし、1人当たりの医療費は、年々数パーセントずつ上がっている。

総務企画委員会

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願

請願者の意見をお聴きし、委員間での自由討議の後、次のような意見がありました。賛成少数で不採択となりました。

反対 隣国の脅威が高まっている中で、米国との協力関係を密にすべきであり、国の動向を見守るべきなので現時点では請願に反対。

賛成 現実的な理由があるにせよ、これまでの40万人を超える原爆犠牲者の重みを考えるなら、一貫した態度で国際社会に対応すべきと考えるので意見書を国に提出することに賛成。

建設市民委員会

桜ヶ丘ハイツ櫻ヶ丘地区内における大規模太陽光発電施設の計画についての陳情

陳情者の意見をお聴きし、委員間での自由討議の後、陳情自体は聞きおきとなりましたが、所管事務調査に加え、今後調査検討を続けていくことを決定しました。

来春、自由通路が完成予定

Q 可児駅東西自由通路の設置や管理方法について審査しました。
Q エレベーターは一般利用者

とJR利用者の共用使用となるが、改札通過後の利用でもエレベーターでの事故に関しては市が管理責任を負うのか。

A エレベーター内での事故やエレベーター自体の制御等機械による事故で、瑕疵がある場合は市の責任となる。

その他、自由通路完成に伴い今広踏切が廃止になるため、市道の変更も審査しました。

引き続き可児市国際交流協会を指定

多文化共生センターの指定管理について審査しました。

Q 指定管理料の算出にあたり人数の予測や国別の変化はどのようにに積算されたのか。

A 人口は増加傾向で、特にフィリピン人が増加しているためフィリピン人の相談役1名増員を含む金額である。

教育福祉委員会

子育て健康プラザの開館に向け市営駐車場を整備

子育て健康プラザ「マーン」に隣接する市営駐車場の設置及び管理に関する条例を審査。

Q 子育て健康プラザには保健センターもあり健康診査など多くの利用者があった場合、民間の駐車場を含め対応をどのように想定しているのか。

A 複合施設なのでいろいろな利用があると思うが保健センターの事業や特別な催しが一時期に集中しないよう連携をとる。また、可児駅西の総合会館分室跡地も含め一定の台数を確保できるため民間の利用は考えていない。

他に、兼山歴史民俗資料館を新たに戦国山城ミュージアムとして位置づける条例、子育て健康プラザに併設される中央児童センターの管理運営を行う指定管理者をシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社とする。ことについて審査しました。

一般質問

8人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。その内容を掲載します。

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。



下記二次元バーコードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



投票率向上に向けた 取り組みは

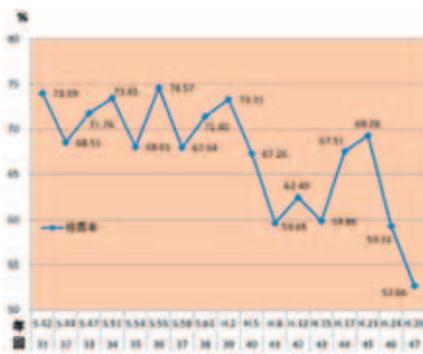
Q 衆院選において選挙管理委員会が取り組んだ選挙啓発事業と今後の取り組みは。

A 従来行ってきた活動に加え新たに「ケーブルテレビ可児」や「FMらら」での選挙告知、期日前投票期間中に開催された健康フェアでの選挙啓発に努めた。18歳の新有権者に対しては、市内高校へ投票方法や期日前投票所の場所等を掲載したチラシを配付。これまで、市内高校での模擬投票や出前講座、小・中学校への主権者教育のサポートを実施した。また主権者教育の現状やニーズについてアンケート調査を実施した。今後もこれをもとに小・中学校に適した出前講座を構築し、主権者教育をサポートしていく。

子ども家庭総合支援拠点の構築は

Q 国の求める子ども家庭総合支援拠点への対応は。

A 子育て健康プラザ「マリーノ」に支援拠点に求められている機能を含めた子育て支援サービスを担う部署を集約する。必要な支援事業を専門的な見地から紹介し、要支援児童やハイリスク妊婦には訪問を行い、継続的に支援を行う。



衆院選投票率の推移 (総務省HPより)



さわの しん 伸
澤野

「マーノ」には 新品の図書を



とみ だ 富田 ます 子 牧子

Q 子育て健康プラザ「マーノ」でそろえる本とその管理について、どのような計画か。

A 「マーノ」の書籍については、500冊ほどを新規購入し、(仮称)ブックカフェのコーナーに置く。子どもの本が中心だが、健康づくりに関する雑誌、子育てアドバイザーの育児書なども含む予定。健康増進課乳児健診での「赤ちゃん絵本事業」では、貸し出しを継続する予定。

Q 中央児童センター「こつと」の図書についてはどうか。

A 小学校低、中学年を中心に、中高生の世代も含むような図書を置きたい。基本的には新しい本を中心に備える。

図書館本館にもブックカフェを



子育て健康プラザ「マーノ」西棟1階配置図

Q 図書館本館一階の新聞・雑誌コーナーは、多くの市民が利用している。ここに自動販売機を設置し、「マーノ」にできるブックカフェのように、居心地の良いスペースにできないか。

A 本館一階の新聞・雑誌コーナーについては、昨年9月に配置換えをし、より利用しやすい場所にしたが、飲食は資料管理上、禁止している。

衆院選投票日の 台風への対応は



たか ぎ 高木 まさ のぶ 将延

Q 衆議院選挙投票日に大型台風の接近が予測されていたが、避難所開設や開票作業を安全に行うための対応はあったか。

A 台風最接近の前々日に進路予測などの情報をもとに市と選挙管理委員会が協議し対応方針を決定した。小中学校での避難所開設も検討したが対応職員数の関係もあり、投票所となる公民館で問題なく併設できると判断した。開票作業においては、進路予測と実際の気象状況から安全であると判断した。今後も危険雨量等の数値基準は設けず、実状を見ながら判断する。

電子投票推進の取り組みは

Q 開票作業の時間短縮や少人数化が期待できる電子投票

の推進を国に働きかける考えはあるか。

A 国での制度確立や研究の進捗など動向を見守っており、現段階で国に対する働きかけは考えていない。日常生活でスマホやタブレットを使う若者世代には、常時啓発の中で現状の選挙制度を理解していただき、選挙に足を運んでもらえるよう取り組んでいく。



電子投票啓発の様子 (青森県六戸町)

小中学校の二期制導入は



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q 市内小中学校の二期制導入はいつからか。

A 平成30年4月1日を予定している。

Q 導入のメリット・デメリットは何か。

A 学校行事の見直しにより児童・生徒は、時間的ゆとりが生まれる。仲間と話し合う時間を取り、主体的・自発的な活動ができる。教職員も企画や検討を丁寧に行ったり、児童・生徒の活動時間や授業数の確保ができる。職員の成績処理業務の負担が減るなど、教員が児童・生徒と向き合える時間が増える。課題は、学期の途中に長期休暇が入るので区切りがつけにくい。保護者は評価が2回に減る不安がある。不安解消に丁寧に対応する。

統一的な基準の財務書類の活用を

Q 統一的基準による財務書類を作成・公表する意義は。

A 従来の財務書類4表の作成方法では、各自治体の作成方式がばらばらで他自治体と比較しにくく、資産の把握が不十分であった。こうしたことが解消され、他自治体との比較や固定資産台帳の整備で正確な資産の把握や事業別・施設別の行政コスト計算が可能となる。

	小学校	中学校
岐阜	16	35
西濃	0	3
美濃	22	8
可茂	0	0
東濃	13	22
飛騨	0	6
合計	51/371	74/180

可児市教育委員会作成資料より

平成29年3月現在の県内二期制導入状況

ひとり親家庭への支援は



わたなべ ひとみ
渡辺 仁美

Q ひとり親家庭には、仕事、教育、家計の3つの面での支援と、相談窓口の充実が重要と考える。さらに民間等と連携し、委託事業をも視野に入れ学習支援に取り組むことへの考えは。

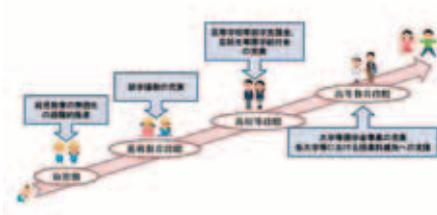
A 地域でのボランティアの方々による学習支援活動があればそれを見守り、必要に応じて行政がかかわっていく。市が委託をしてというような想定は考えていない。

相談体制の充実を

Q ひとり親家庭からの相談内容の概要とそれに対する支援体制は。

A 平成28年度は、母子・父子自立支援員が年間のべ900回の相談にあたり、その主な内容は、保育所・児童クラ

ブへの入所、子育ての方法等、養育に関するもの241回、不登校・進学先等教育に関するもの111回、母親の病気、障がい、出産、子どもの病気等医療健康に関するもの83回となっている。子育て健康プラザ「マリーノ」に子育て支援機能を集約し、ひとり親家庭を含め、さまざまな課題を抱えている家庭に対し、関係機関との効果的な連携体制で支援を進めていく。



ひとり親家庭への支援策(文科省HPより)

妊婦乳幼児への 切れ目ない支援を

Q 妊娠期から出産、子育て期と、切れ目のない支援体制の構築が本市の主要な政策であるが、現状および今後の課題は何か。

A 妊婦については母子健康手帳交付時の個別面談にて、リスクの有無などを確認した上で、必要に応じて担当保健師が訪問している。第1子新生児については、担当保健師・母子保健推進員が訪問し、第2子についてはスマイルママがほぼすべての家庭を訪問している。平成30年度の子育て健康プラザ「マーノ」の開設により子育て世代包括支援センターとしての体制が整う。

いじめ相談体制は万全か

Q 平成28年度のいじめ防止専門委員会への相談件数は18



やまね かずお
山根 一男

件、教育委員会が把握する学校のいじめ事案は128件だった。ネットいじめ等を含む相談体制は万全か。

A SNSを利用したいじめは4件報告されている。様々な方法でいじめの把握に努めている。SNSを利用したいじめ相談体制については、今後の国や他自治体の動向を注視していきたい。



期待される子育て健康プラザ「マーノ」

総務企画委員会視察報告

総務企画委員会では、平成29年11月16日と17日に、「防災」を課題として、香川県高松市と丸亀市にて行政視察を行いました。

高松市では、「地域コミュニティ継続計画の作成支援」「消防団活動の活性化」の二点について視察しました。

市民がより主体的に地域防災計画に参画し、災害時ににおける避難所運営などにも踏み込んだ地域コミュニティ継続計画を各コミュニティ単位で策定しています。

消防団組織においては、従来の組織とは別に大学生主体の機能別消防団等を結成し、大規模災害への備えとしています。

丸亀市では、防災のまちづくりを進めている川西地区自主防災会をたずね、具体的な

活動の内容について視察しました。

防災意識の向上に腐心する中で、地域住民が一体となつて防災を中心とするまちづくり活動が活発に行われています。

本市においても自主防災や消防団活動などにおいて様々な工夫が行われていますが、今回先進地の事例に直接接したことで、さらに課題解決に向けて努めていく決意を新たにしました。



丸亀市川西地区自主防災会の皆さんと

建設市民委員会視察報告

建設市民委員会では、平成29年10月31日と11月1日に秋田県大館市の汚染土壌処理施設と、岩手県花巻市の地域コミュニティを活用したまちづくりについて視察を行いました。

大館市にある汚染土壌処理施設では、本市に建設中の施設で行われる予定の乾式磁力選別が稼働しており、騒音や粉塵の近隣への影響や、雨水対策等の実状を見てきました。本市所在の施設では平成30年秋の稼働を予定しています。その後も今回の視察を参考に動向を注視していきます。花巻市では地域の拠点施設である地域振興センターや体育館などが、各地域住民主体の「地域コミュニティ会議」によって運営されていました。10年前に1市3町の合併で始

まった制度で、地域住民自らが地域課題に取り組み、地域づくりができる体制を整えていました。

本市においては平成30年度より公民館が地区センターに変わります。利用制限が緩和されますので、今まで以上に地域活動の拠点としての利用を促進していくとともに、地域の課題解決に向けた取り組みの参考となる視察でした。



汚染土壌処理施設にて (大館市)

教育福祉委員会視察報告

平成29年11月16日、今年度開園した認可保育園「はぐみの森保育園」と企業主導型保育園「スマイルネストバロー広見保育園」への視察しました。視察の前には保育の制度、現状等について担当課から説明を受けました。

はぐみの森保育園は、老人福祉センター可児川苑に隣接し、定員102名で4月に開園しました。運動場で元気に遊ぶ園児の笑い声が響いていました。

次に、企業主導型保育園2園を見学しました。どちらも定員30名、その内、地域枠が15名分です。スマイルネストバロー広見保育園は9月に開園しました。5分ごとアラームで呼吸チェックを行い、事故防止の工夫をしていました。

にのこの保育園は0才〜5才までの異年齢保育所で、丘の上の景色が良い場所にありま。野菜作りや生き物との出会いを通して地域との交流を行っていました。

高まる保育ニーズに対応した保育園整備は、子育て世代の安心づくりのための重要な施策の一つです。今後とも待機児童解消につながり、また保育の充実が進められることをしっかりと見守っていきます。



スマイルネストバロー広見保育園にて

マニフェスト大賞 成果賞特別賞を受賞

平成29年11月2日、東京都虎ノ門ヒルズフォーラムにおいてマニフェスト大賞授賞式が行われ、可児市議会は、応募総数2597件の中から成果賞特別賞を受賞しました。

議会報告会や地域課題懇談会において広く市民の意見を聴き、政策提言につなげようとする取り組みや、委員会代表質問の実施等委員会機能の充実が評価されました。2年前には議会部門グランプリを受賞しましたが、その後も全国をリードする取り組みを続けていると評価され、今回の特別賞受賞となりました。

これらの可児市議会での継続的な取り組みを参考にしたいと、全国の議会が視察に来ています。平成29年度は、12月末現



在で46議会437名の方が可児市を訪れました。わがまちの未来のための努力、行動を惜しまない、との決意を全国の地方議会へ発信したいという思いで、可児市議会の取り組みを熱く伝えていきます。

今回の受賞を励みに、今後も市民福祉の向上に貢献できる、充実した議会活動を続けていきます。

マニフェスト大賞とは

早稲田大学マニフェスト研究所顧問の北川正恭氏らが提唱し、2006年に設けられた。地方自治体の議会、首長や、民間団体等の活動を表彰することにより、優れた取り組みが広く知られ、互いに競うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げることを目指している。

議会レポート

このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。

▼可茂地域議員研修会 (11月24日)

可茂地域の市町村議会の議員研修会がアールで行われ、内閣官房IT総合戦略室長代理の神成淳司氏より「農業ICTの未来」と題して講演いただきました。地方創生時代の稼ぐ農業について貴重なお話をいただきました。



▼建設市民委員会・教育福祉委員会 市内視察 (12月13日)

子育て健康プラザ、可児駅東西自由通路、かわまちづくり、土田渡多目的広場（仮称）、の市内4事業に関して視察を行いました。子育て健康プラザ「マーノ」の施設内は、天窓や大きな窓からの光が多く差し込むよう設計されており、とても明るく、今後新たな市民の憩いの場となることが期待されます。



第1回定例会のお知らせ

2月

21日 開会日（議案説明）

21日 予算決算委員会
22日

3月

2日

5日 一般質問・議案質疑

6日

7日

8日

9日 予算決算委員会

13日

7日 総務企画委員会

8日 建設市民委員会

9日 教育福祉委員会

22日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。
（2月21日の予算決算委員会と3月6日・22日は午後1時開会の予定です。）
日程は、都合により変更となる場合もあります。



チョット おじゃまします

*今回は、富田牧子委員と天羽良明委員が、広見地区で家事・介護支援や施設でボランティア活動をされている「いしずえ」のミニカフェ喫茶におじゃましました。

広報委員：皆さん本当にいい笑顔。まさに憩いの場ですね。

河合さん：平成8年に商店街のこの場所をお借りし事務所兼福祉の店「くるみ」を開設して地域交流の拠点としてきました。ミニカフェ喫茶、食事会、家事・介護支援相談、K体操、着物のリフォーム、小物販売などをやっています。

広報委員：ミニカフェ喫茶の自慢は。

河合さん：毎月第2・第4火曜日に100円で地域の方々とゆったりとしたひと時を過ごしています。先日は赤ちゃんとお母さんが雨宿りで2時間程遊んでいってくれました。どなたでも気軽に入っていただけます。

広報委員：皆さんで目指していることは何ですか。

河合さん：この場所には、家族の話から介護の話まで気軽に同じ目線で話し合える仲間がいます。何度か来て元気になってくれたら一番うれしいです。いろいろな地域の支え合いが広がってほしいと思っています。スタッフさんと無理せず続けていきたいです。

取材を終えて

おいしいスイートポテトをいただきながら、皆さんの笑い声が心地よく、つつい時を忘れてしまいました。しかし、今まで33年の活動にはご苦労もあったと思います。河合さんのお話から地域の支え合いのためには居場所の確保が大切であることがわかりました。

地域のかがやき 地域の笑顔

姫治／バウムクーヘン作り



いい香りが漂ってきそう

兼山／保育園発表会



練習の成果を発揮できたかな



Find us on
Facebook

可児市議会

